

震災後——暮らしの中の灯りを考える

照明探偵団

照明探偵団は、照明デザイナー面出薫を団長に1990年に結成されました。

照明探偵団は、照明デザイナー面出薫を団長に1990年に結成されました。非営利の照明文化研究会です。

あらゆる角度から街の光を観察・調査するウェブサイトを主体にした、非営利の照明文化研究会です。

世界照明探偵団HP : <http://tnt-lightingdetectives.org/index.html>

照明探偵団HP : <http://shomei-tanteidan.org/>

参加費
無料

シンポジウム in 仙台

2012年10月6日(土)

18:30 ~ 21:00 (※受付開始 18:15)

せんたいメディアアター
7階 スタジオシアター

宮城大学

立命館大学 教授

篠田博之氏

植松 豊行氏

を迎え「照明探偵団シンポジウム in 仙台」を開催します。

東北芸術工科大学 教授
京都造形芸術大学 教授
パナソニックデザイン社 初代社長

照明デザイナー
面出 薫氏

第2部 せんたいメディアアターク歩き：面出薫

「プログラム」第1部 シンポジウム (18:30 ~) HP : www.tocol.net/

「連絡先」 Tel.03.3465.6600 (トータル事務局) E-mail : miyagi-u@tocol.net

「お問い合わせ」 参加申し込み先 E-mail : miyagi-u@tocol.net 申し込みされている方を優先とさせていただきます
事前申し込みのみでも参加できますが、定員をオーバーした場合は申し込みができません。

主催：照明探偵団 in 仙台 実行委員会 (宮城大学 伊藤真市研究室)

後援：宮城県 仙台市 宮城県教育委員会 仙台市教育委員会 公益財団法人日本デザイナー

協力・協賛：照明探偵団 色と光の能力テストTocol

震災後 — 暮らしの中の灯りを考える

2011年の東日本大震災を通して気づいた「灯り」の大切さ。

そしてこれからの私たちの街に求められる光環境の役割とは——。

「震災後 — 暮らしの中の灯りを考える」をテーマに

世界的な照明デザイナー面出薫氏、

パナソニックデザイン社 初代社長 植松豊行氏、

色彩工学の第一人者 立命館大学教授 篠田博之氏、

宮城大学准教授 伊藤真市氏を招き、

私たち宮城大学や各大学の学生運営委員と

参加者の皆様で共に考え、意見を交換する機会として

シンポジウムを開催します。

面出薫氏 (照明デザイナー)

1950年東京都生まれ。東京芸術大学美術学部デザイン科卒業後、同大学院美術研究科修士課程を修了。1990年(株)ライティングプランナーズアソシエーツを設立、代表取締役。住宅照明から建築照明、都市・環境照明の分野まで幅広い照明デザインのプロデューサー、プランナーとして活躍するかたわら、市民参加の照明文化研究会「照明探偵団」を組織し、団長として精力的に活動を展開中。著書に「世界照明探偵団」(鹿島出版会)、「陰影のデザイン」(六耀社)など。

植松豊行氏

(東北芸術工科大学 教授
京都造形芸術大学 教授
パナソニックデザイン社 初代社長)

1948年香川県生まれ。武蔵野美術大学造形学部産業デザイン学科卒業。1971年松下電器産業(株)入社。2002年よりパナソニックデザイン社設立に伴い初代社長に就任。2008年同社を定年退職後パナソニック(株)客員に就任、東北芸術工科大学教授に就任。事業、商品開発、プロダクトデザイン、サステイナブルデザイン研究などを担当。昨年4月より京都造形芸術大学にてプロダクトデザイン学科を創設し学科長教授に就任。他に、ドイツIFデザイン賞審査委員、マレーシアURM大学政府招聘講座委員、経済産業省製造産業局委員など歴任。

篠田博之氏 (立命館大学教授)

1966年神奈川県生まれ。東京工業大学理学部物理学科卒業後、同大学院総合理工学研究科物理情報工学専攻修士課程を修了。日本色彩学会理事、照明学会広報委員長、国際照明委員会(CIE)第1部会委員、Optical Society of America、応用物理学会、日本照明委員会などに所属。専門は視覚情報処理、心理物理学、色彩工学、視環境工学。著書に「色彩工学入門」(森北出版)、「知覚心理学」(ミネルヴァ書房)、「色と光の能力テストTOCOLテキスト」(リリス)ほか。

伊藤真市氏 (宮城大学准教授)

1961年東京に生まれ。東京造形大学造形学部卒業後、筑波大学大学院芸術学研究科 博士課程を筑波大学大学院 芸術学研究科 博士課程を単位修得退学。株式会社フジタ勤務、杉野女子大学講師、宮城大学助教授を経て、2008年より現職。専門は文化環境デザイン、色彩論。